



訓示

入学おめでとう。諸君は多数の志願者の中から選ばれて日本工業大学に入学されました。これからは選ばれた人としての誇りを持ち、意欲的に学習に精進されて実りある大学生活を送られることを願っています。

さて昨年末に開かれた地球温暖化防止京都会議では温暖化の原因となる排出ガスの二〇一〇年までの削減目標が決まりました。これまでも削減努力を重ねてきた日本にとっては厳しい六%削減という条件が課されましたが、美しい地球を子孫に伝えるために是非守らねばならぬ目標です。

これからの工業は人にも地球にも優しいことが要求されています。将来、諸君は働く人にとって快適であり、環境を汚染しない工業の実現に努力して頂きたい。これは、一つ、一つの製

新入生諸君、私は諸君が目出度く九十年の伝統を有する本学園の仲間入りを果たされたことに對して、心より歓迎の意を表するとともに、大きな期待を抱いてこの日を迎えました。

さて諸君は、それぞれ何らかの「目的」や「夢」を抱いてわが日本工業大学に入学されたことと存じますが、私が先ず第一に諸君に申し上げたいことがらは、(何故)(何を)学ぼうとするのかということ、具体的に授業が開始されるまでのこの一週間の間に、改めて熟慮してほしい、ということでありま

と言いますのは、大学という学びの場は、高校と違って、基本的に自分の定めた目標に沿って学問に取り組むことを第一義とし、またそういう取り組みの座標をもたないと、高度な専門知識や技術の修得など、おぼつ

歓迎の辞

品について、原料の資源採掘から製造工程、使用状態、そしてリサイクル過程までの全体を地球環境問題として考えるということです。

本学学生として先ずすべきことは、発想豊かな、視野の広いエンジニアとなるための幅広い勉学でしょう。講義の内容を聴き取りに留まるのではなく、

幅広い学習と
豊かな人間性を

常に何故かと理由を考えることを習慣づけることです。在学中に各種の資格試験に挑戦されることは講義で習った知識を整理するよい機会となります。諸君が希望すれば先生方も資格の受験勉強を応援して下さい。社会人としてのマナーを身に付けること、そして遠慮なく自

分に対する意見を言うてもらえる生涯の友人を見つけることは学生時代に最も大切なことです。クラブ活動は友人を見つける良い機会を与えます。昨年度に活躍したクラブをあげると、自動車部のホンダエコノパワー燃費競技大会での七連覇、硬式野球部の東京新大リーグ一部昇格、全日本理工科学生柔道大会

での優勝等々、誠に頼もしい限りです。家が遠くてクラブ活動ができないというのを聞きますが、時間の制約の少ない同好会に入る方法もあります。大学時代は人生でエネルギーが最も満ちている時期です。ただ、家と教室とを往復するだけではもったいない。専門の学習

かないからであります。

さらに持つべき心構えの第二点は、各自、専門学科に在籍して学問に取り組むことになることは言え、出来るだけ大学全体を学業の場と捉えて錬磨に励む姿勢が肝要、ということです。

隣接科学にも強い
「知」の形成を

「知」の形成を

さることながら、それに加えて、工学全般にわたる基礎的知識や物の考え方を身につけておかないと、実のある成果や独創性に満ちた開発に結びつけることができないからであります。各自、入学に際して(大学案内)を一覧になったと存じますが、本学では機械工作センター、電気実験研究センター、材料試験

教育環境を縦横に駆使して、真に社会に役立つエンジニアの素養を育てていきたい、と希望してやみません。

工学の幅広い素養を育むと言え、いわゆる隣接科学である自然科学や人文・社会科学などを学ぶことも重要です。諸君も承知のように、現代社会は、たいへん複雑・多様化

に限らず、色々なことに興味をもつて人間の幅を広げて下さい。興味を養うことは発想を豊かにし、エンジニアとしての感性を養うのに役立ちます。

諸君が技術者として活躍する二十一世紀は国際化の時代、外国技術者と肩を並べて競争するためにも、工学の基礎をしっかり身に付けること、そして語



学長 敬
神馬

学が大切です。本学の学生は英語の授業時間の少ない工業高校の卒業生が多いので、技術は強いが語学に弱いという傾向があります。この状態を改善するため、今年から新入生に先ず英語実力統一試験を行い、その結果を見て授業を行う新方式を考えています。また、本学はカナダのアルバ

し、もう技術というもの技術を領域内にのみ留めた見方や開発姿勢では、どうにもなりません。たとえば環境問題一つを見ても、自然との持続的な共生をはかるためには、生物学的な視点、あるいは社会学的な物の考え方などが不可欠。それゆえ昨今は、エンジニアといえど、高い専門知は無論、隣接科



理事長 陽康
大川

学にも強い、いわばどっしりとした「知のビルミッド」を形づくっていかないと、ことが立ち行きません。

したがって、私が第三に強調したいことは、共通系科目として据えられているそれら隣接科学分野の学問の履修も、けしてなおざりにしてはならない、ということでありま

1ヶ所の短期大学(LCC)と学校間協定があります。付属の東京工業高等学校が高校卒業後、直ぐLCCに留学して進学生士の称号を得た後、日工大に編入するという制度です。一回生十二名、二回生十七名が現在留学中であり、一回生の大部分は今年秋には帰国して編入学する見込みです。この編入生が諸君と混じり合ってどんなミキシング効果を起こすのか、期待でいっぱい입니다。

大学生になってこれまでもの大きな違いは、諸君が自立した大人として遇されること、学習面でも生活面でも面倒見の良かった高校時代に比べて戸惑うことも多いと思います。繰り返しますが、何らかのクラブに入っ

て、先輩、同輩の助言を受けるように。五月の体育祭、十一月の若杉祭に積極的に参加すれば心配も吹飛びます。ともあれ、元気で楽しい学園生活を築いて下さい。

しかし、誤解のないよう言い添えておきますが、諸君が本学に学ぶべきことは、既存の知識と方法だけではありません。世には、さまざまな価値が存在しますから、授業以外にも、ひろくそういう対象にも目を向けて、多くの人と交わり、自分で考えて行動することが重要です。そして、そのような生活を通して自分なりの価値観を育てていく場所、それが大学だという点を、心の奥底に強く銘記しておいて下さい。

ともあれ、諸君の多くが社会に出る四年後は、二十一世紀という新しい時代が活躍の舞台です。それゆえ産業界は、より一層、新たな構想力や独創性を待望していると見て、間違いないでしょう。

どうか、そういう大きな時代変革の流れを見据えながら、日本工業大学での学習期間を有効に使って、新しい英知を培って下さることを切望致します。

諸君、入学おめでとう。大学が君達の若さと活力をいっぱい受けて華やいてるのを感じますか？君達の今の姿を大学は映しているのです。君達におおきな可能性を開いてくれるに違いない大学での四年間の生活がいよいよ始まります。胸一杯の期待と同時に、これからの大学での勉学に多少の不安を感じることもありますが、心配することはありません。なんとかやれるようになります。これから諸君に本学のカリキュラム（教育課程）の活用方法や、授業の選び方の基本的考え方などを述べますので参考にしてください。大事なことは科目履修の基本を理解した上で、そのなかに自分流のフレイバーを付け加えることです。



●教務部長からの助言

カリキュラムを
いかに活用するか？

廣瀬治男教授（電気電子工学科）

さて、大学で授業を受けるには予め「履修申告」をする必要があります。履修申告をしないと正規の受講とみなされず「単位」を取得することができません。履修申告のために二週間の準備期間が用意されています。オリエンテーションや授業計画からある程度、科目の内容を把握しておき、興味を持った科目を試して受講してみてください。気に入らない場合には次週に別の授業に出ることが出来ます。

履修科目を決め、履修申告を済ますと自分の一週間の時間割ができるので、あとはそれに従って授業を受けていくことになります。進級や卒業のためには定められた単位数を取得する必要がありますが、単位を取得するには学期末に行われる試験で六〇点以上を取って合格しなければなりません。二年生に進級するには前・後期で合計三〇単位以上の取得が条件となりますが、単位不足を心配するあまり履修科目が多すぎる学生が見受けら

れます。単位は基本的に四五時間の学習に対して一単位と定められています。本学では週九〇分授業をもって二単位が標準ですので、そのためには少なくとも見積もっても授業九〇分、予習復習一八〇分、計四、五時間の勉強が必要になります。一日に二科目を履修すると九時間勉強することになります。予習復習を要求されていない科目である「演習」や「実技」などを含めて一週に履修できる科目数の目安は前期、後期の各期について三〇単位が限度と考えられます。それ以上の履修科目は多分に中味の薄い勉強になる危険性があります。

履修科目は将来の目標などに合致するように自由に選択することが基本ですが、三年次、四年次と進級し、そして最終的に卒業を迎えるには必要単位数のほかに、履修義務のある「必修科目」や「選択必修科目」の試験に合格しなければなりません。

卒業のために課せられている幾つかの要件は、大学がどのような学生を育て、社会に送り出すかという大学の社会に対する責任の表明とすることが出来ます。卒業に必要な単位数二四単位の中でも三年次から始まる「卒業研究」、「卒業計画」は特に重要視しており全学科で必修科目として位置付けています。ここでそれまでに修めた科目の総合力が求められ、本学が標榜する「技術科学と感性」の真価がそこです。問われることになるのです。卒業要件は卒業のための最小の条件ですので、せっかく大学で学ぶからにはそれを超えて色々な科目の幅広い履修に努めましょう。平均的な卒業単位数は一四〇位になるようです。自分の属している以外の学科の専門科目を学科の枠を超えて履修し、一二単位までを卒業要件単位として認める「オープン履修」と呼ぶ制度を取り入れています。

特に力を入れているのは「外国語」です。国際化の時代、本学の留学生の数も年々多くなり、外国語をマスターすることの重要性がますます大きくなっています。このように大学の勉強ではカリキュラムの自分流の積極的な活用が大切です。

観察力、探究心、好奇心、
そして伸びやかな心を

機械工学科主任 柳澤 章教授



梅を見て野を見て
行きぬ草加まで
これは、正岡子規二十七歳の時、春のぶらぶら歩きで、多分君達の通学路でもある草加まで足が及んだ時に詠んだ一句です。実にのどかな句で私は春になるとこの句を思いだします。若年から病弱の子規は三十五歳で世を去るのですが、脊椎カリエスによって床についた身でありながら、

窓の影小春のトンボ
稀に飛ぶ
の句にみられるように病間のわずかの空間から自然の移り変わりを観察し創作に結びつけています。

さて、エンジニアを志す諸君が大成するための条件をこの機会に述べてみたいと思います。

それは、現象を正確にとらえる観察力、原因を追及する探究心、安住することなく常に意欲をかきたてる好奇心、そして逆境に負けない伸びやかな心です。前述の子規の句に託して私からの入学へのメッセージとします。

学生生活の意味

電気電子工学科主任 高橋篤夫教授



入学おめでとう。四年間は長いようで短いものです。学生生活が諸君の人生において持つ意味をよく考えて下さい。

電気電子工学科では、社会での仕事の基礎となる実力の養成を主眼として必修科目、選択必修科目を配置しています。ある意味ではあまりにも細かい専門知識を身につけるよりも、学生時代に何をしておくべきかが問題です。

今は先の見えない時代と言われます。このような時代に先を見ようとする努力は容易ではありませんが、社会に出てからは絶対に必要な能力です。特に工業高校から専門の枠内にある大部分の諸君にとって、学生時代から、できるだけ視野を広くし、将来に対する洞察力を身につけようとする意識、そのための努力が必要です。

その方法として確実なものはありませんが、クラブ活動、友達作りなど、できるだけ工夫して、意義深い学生生活を送って下さい。

かけがえのないひとりに

建築学科主任 波多野 純教授



入学、おめでとう。建築学科は、諸君を心から歓迎します。

日本工業大学はカナダに研究所をもっています。一九二三年に建てられアルバータ州の文化財に指定されている裁判所を改修した建物です。

二年前、開所式で挨拶に立った改修工事の責任者ケン・ソレンセンは「ダッド、君が塗った窓枠はすばらしい」「スーザン、君のおかげで床はぴかぴかに光っている」「ひとりひとりを指さし、かけがえのないスタッフとして特技や技術を評価し、感謝の言葉を述べられました。私に向かって「君たちは文化財保存の真の姿を教えてくれた」と言われた時は、涙が出るほど嬉しかったのを覚えています。

建築学科は、諸君ひとりひとりが独自の個性や技術をもったかけがえのない人に育ってくださることを心から願っています。そのためのプログラムも用意しています。一緒に楽しんで、建築や町を創りましょう。

大学生活を二倍有意義に
楽しもう

システム工学科主任 原 利次教授



入学おめでとう。いまはいよいよこれからパリの大学生です。これからの四年間は人生で一番貴重な期間です。人生の一番大事な時を、皆さんのように大学で過ごすか、君たちの仲間のように社会に出て働くか、どちらも大事で貴重なことです。皆さんに折角与えられた折角の貴重な機会を是非有効に使って下さい。大学には立派な設備と、いろいろな先生方と個性ある仲間達がいます。授業に出ることは勿論大切ですが、それだけでは大学生活の半分しか吸収していきません。これからの技術者になるための人間性も磨かなければなりません。

サークルに入るでもよし、先生と議論するでもよし、同郷の先輩を訪ねるでもよし、友達と飲みに行くでもよし、何らかの形でいろいろな人と交わって下さい。揉まれてこそその中から人間性が育つのです。そうしてこそ大学生活を二倍有意義に楽しむことが出来るのです。

体験の重視

情報工学科主任 松田郁夫教授



新入生諸君、入学おめでとう。本学は、実学に重きを置く学舎である。実学の一つの根幹は体験である。技術を学ぶときに、頭で理解しただけの状態では、手に入らないし、学んだ技術を通じて、人に感動を与えることもできない。

よく言われることだが、心に伝え、目に伝え、耳に伝えというように、全ての

ものごとを体験的に、自身自身に伝えなければならぬ。このことを東洋の哲学では、「教外別伝（きょうがいべつでん）」と言うそうです。この言葉は言葉や文字に囚われるなどという意味の「不立文字（ふりゅうもんじ）」と対で用いられることが多い。教外別伝はものごとを体験的に伝えることに力点がある。技術を学び、技術で身を立てる者にとっては、単なるオブザーバーや口先だけの評論は意味がない。自らの体験を通じ、自ら「小さなことを積み重ねる」という行動様式が必要である。

技術の本質に
目を向けよう

共通系主任 船橋昭一教授



長野オリンピックの話のひとつスラップスケート、世界記録を次々に更新しました。スピードスケート男子500mで金メダルを手にした清水宏保選手、彼もこのスケートを使いしました。私は彼を支えた長野県諏訪のエンジニアにも金メダルをあげたいと思います。清水選手に一度も会わず20回以上の試作を繰り返し、納得のいくスケートを作り上げたからです。技術の本質が見えた瞬間の輝きと、これぞ技術者としての誇りです。スラップスケートで競技に参加しました。数多くの選手の中でこのような人があるのでしょうか。諏訪のエンジニアもニコルソンも水上のスケートの一点に似合った技術に挑戦したのです。諸君達みんなが、技術の核心にせまる事ができるエンジニアに成長することを願ってやみません。日工大入学おめでとう。

入学おめでとう

機械工学科

電気電子工学科

建築学科



システム工学科



昨年度の新入生参加の体育祭風景

大学院工学研究科

博士後期課程

●機械工学専攻

●電気工学専攻

●建築学専攻

●システム工学専攻

博士前期課程

●機械工学専攻

●建築学専攻

●電気工学専攻

●システム工学専攻

平成10年度 海外研修のお知らせ!!

英会話の練磨と異文化体験の旅

CANADA

生きた外国語を身につけるには、実際にその言葉が用いられている国の文化風土や生活慣習にふれるのが最適の方法だ。

日本工業大学が、夏期休暇を利用して毎年行っている「カナダ特別英語研修」も、そんな狙いのもとに実施しているが、短期間の研修とはいえ、のちの学習意欲の向上や体得に、多大な成果をもたらしている。

【研修日程】

＊八月二十二日（土）。成田空港よりアメリカン航空にて米国のシアトル経由でバンクーバー到着。

＊八月二十三日（日）。半日、バンクーバー市内観光の後、UBCのドミトリに宿泊。

＊八月二十四日（月）～九月十一日（金）。一般家庭にホームステイしながらUBCにて研修。この間、オアシヨナルツァーとして、二泊三日の予定でカナディアンロッキーズへの小旅行を実施。

＊九月十二日（土）。バンクーバーより空路ロサンゼルス入りして市内観光。

＊九月十三日（日）。ロサンゼルスで終日、自由行動。

＊九月十四日（月）。ロサンゼルスより空路サンフランシスコ入り後、専用車でスタンフォード大学の見学およびサンノゼ市内を見物してサンフランシスコに宿泊。

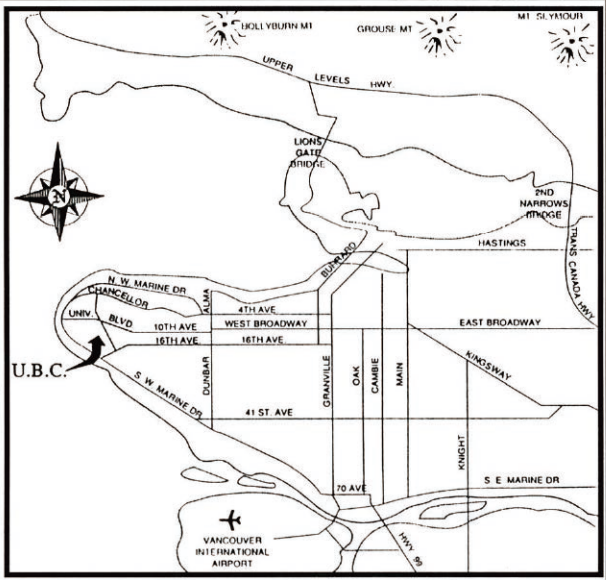
＊九月十五日（火）。サンフランシスコにて終日自由行動。同地泊。

＊九月十六日（水）。サンフランシスコ空港発サンノゼ経由で帰国の途へ。

＊九月十七日（木）。成田空港到着後、解散。

◆【費用】四十九万八千円。

なおUBCのあるバンクーバーは、トロント、モントリオールに次ぐカナダ第三の都市で、人口は、周辺部を含めて、約百七十五万。ちなみに同市は天然の良港に恵



UBCのエンブレム

UBCは市の西方、太平洋に突き出た半島の突端のほぼ全域を占める広大なキャンパスを有する。そして、さながら一大公園を思わせる敷地のあちこちに学棟やサービス施設が散在。市民も絶好の散策地として数多くやってくる。

が国との貿易も盛んで、日系企業約二百三十社が活動している。したがって、ブリティッシュ・コロンビア州の日本語学習者は年々増加しており、中高生レベルの日本語学習者は約七千人。州内の小学校六年生（四万人以上）は社会科の時間に、三ヶ月にわたり日本について学んでおり、教科書は一〇〇ページ近い詳細なものである。ゆえに参加者は、その点を脳裏に刻んで日本文化も復習しておきたい。

ともあれカナダは風光明媚でアメリカに比べ、治安も格段にいい。従って、思い出に残る研修旅行が実現できよう。

EUROPE

一方、ヨーロッパ研修は、我が国の近代化に多大なる影響を及ぼした国々を歴訪し、その歴史や文化風土を体感。以て、地球時代における国際感覚を養おうというのが、その目的である。

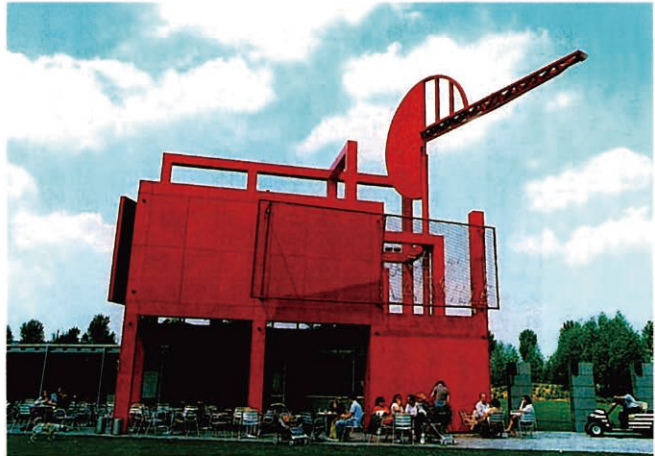
研修日程は、八月二十六日（水）より九月十二日（土）の十八日間で、費用は五十三万八千円。ちなみに訪問地は左記の通りだが、参加者は、せっかくの旅行を自身の濃いものにすため、ガイドブックの類もさることながら、できれば今からヨーロッパの歴史を概観できる通史ぐらいは目を通しておきたい。なぜかと言えば、歴訪地はEU（欧州連合）の形成国でもあり、歴史的にアジア諸国以上に密接な太糸でつながっているため、その綾にふれないことには単なる物見遊山に終わってしまうかねないからである。

とくに建築学科に在籍する者は、その点に深く留意して、各地の都市空間や建築物の様相を観察すれば、後学のための大きな「目の導き」になるに相違ない。

【訪問都市】アテネ（ギリシャ）↓ローマ（イタリア）↓ヴェネチア↓ミュンヘン（ドイツ）↓チューリッヒ（スイス）↓バルセロナ（スペイン）↓パリ（フランス）↓ロンドン（イギリス）

なおローマ、ミュンヘン、チューリッヒ、バルセロナ、パリ、ロンドンの各都市では、自由行動時間がたっぷり設定されているので、各自、思いの場所を存分に見学できるので、その参観ポイントも、今から狙い定めておくに越したことはない。

理工系の学生が見学しておくべきポイントの参考例を挙げれば、ミュンヘンでは「ドイツ科学博物館」。パリでは、斬新な空間構成で注目される「ラ・ヴィレット公園」と隣接の「科学技術館」。そしてロンドンでは、世界市場を制覇した工業製品を展示する「デザイン・ミュージアム」などがある。なおヨーロッパ研修の詳細に関しては、学生課に問い合わせされたい。



いま世界で最も新しいコンセプトの公園と注目のパリ「ラ・ヴィレット公園」内の四阿屋の一つ。

●学生部長メッセージ

充実したキャンパスライフを



共通系 小林 勉教授

新入生諸君入学おめでとう

緑に恵まれたこの広大なキャンパスに、また今年も全国各地から海外から、千二百名もの若きあふれる新入生を迎えることになった。例年のことながら、私も身の引きまがる思いである。一日も早く本学の学風に慣れ、これからの四年間を悔いのないように過ごしてほしいものである。そして、この日本工業大学を巣立つ時「厳しかったけれど、苦しかったけれど、しかし自分の学生生活は、多くの友達にも恵まれ楽しく素晴らしいかった」と心から思えるようになってもらいたい。

大学生活を迎える上で大切なことは、大学は高校時代の延長ではない、ということ。これを自覚しなければならぬこと。大学生活は与えられたテーマをやるだけではない、大学では、自分自身で考え、そして自分自身で責任を持って進んで行かねばならない。自分が何をやりたいか、どうすればそれができるか、しっかりと目標を持ってほしいと思います。

授業に出るにもほんやりと出るのではなく、疑問を抱いたならば、図書館で調べたり、質問したりして知識を貪欲に求めてほしい。学問や学習というのは、こうした出会いのための手続きを教えるものである。

教員をはじめ優れた先輩や友人との出会いによって成長することもあろうが、目に見えない史上の人物、あるいは優れた作家や学者など、偉大な人物との出会いも精神の糧になることと思う。

このように大学という教育の場は、広い視野を持つための学習の場であり、また、その広い視野や多くの体験によって、感性を養いしっかりとした価値観や判断力ができるようになると思う。

本年は、今世紀最後の冬季オリンピックである長野大会が開催された記念すべき年でもあった。オリンピックでは数々のドラマが生まれた。渾身の力をこめて戦う選手たちに多くの人は、感動し涙した。まさに青春である。

「青春とは、人生のある期間ではなく、心の様相をいうのだ。逞しき意志、優れた創造力、炎ゆる情熱、怯懦を退ける勇猛心、安易を振り捨てる努力心、こういう様相を青春というのだ。」これは、サムエルウルマンの詩の一節です。多くの人が心のバイブルとして絶賛されているが、私もまた、いつの世も変わらぬ真理と信じている。青春の飛騰は、大きなエネルギーをもっている。諸君も、失敗を恐れることなく何事にも挑戦し、再び訪れることのない青春時代を精一杯生きることに大切である。

諸君の学生時代の四年間は、これからの人生にもっとも大きな影響を及ぼすことになる。行動を通して真の感動を味わってほしい。

私は若き青春時代には、スポーツに限らず何か一つ情熱を傾け、心身ともに鍛える必要があると思う。

なぜなら、これからの人生においてどんな逆境にあっても力強く生き、また人生を豊かに過ごす原動力となるからである。

ところで、現代の若者を論ずる時、「気にしない」「挨拶しない」「我慢しない」などと言われているが、この言葉の背景には、急激な社会構造の変容と深刻な世代間のギャップがある。私は技術や知識だけでなく、学生には温かい心の流れている人間性をもつてほしいと願う。

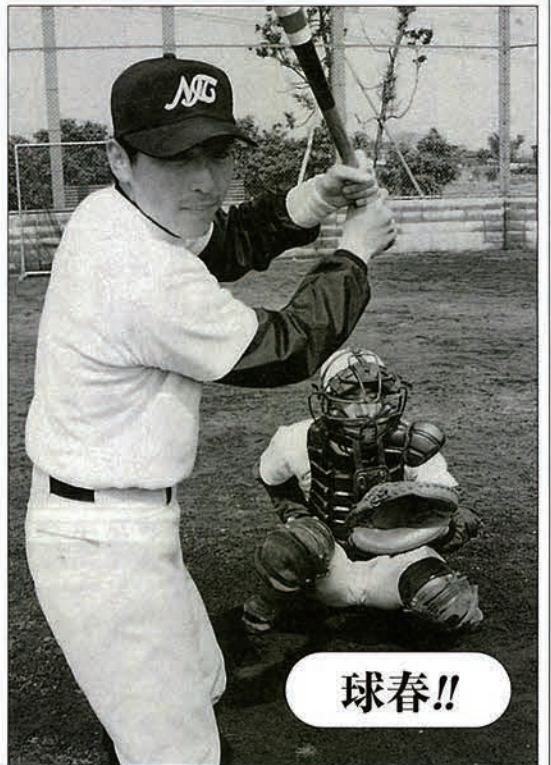
社会というのはその異なった個性を持った人間の交わる場である以上、当然のことながらお互いに思いやり、協力し合うことが必要である。挨拶などは、人間関係の基本であり、礼儀正しさは、国際人としての第一の資格である。今更礼儀などと言われるかもしれないが、ぜひ自主的に礼儀正しさを身につけてほしい。

どうかこの四年間が充実したキャンパスライフであることを期待する。

いよいよリーグ戦開幕!!
球場で校歌を唱おう



村井主将(右端)を囲んで戦略を練るナイン



球春!!



昨シーズン、みごと強豪ひしめく東京新大学リーグの一部入りを果たした野球部が、いよいよ春季リーグに突入する。

この春休みを利用しての強化練習も万全で、今季はその成果が大いに期待されるので、できるだけ球場に足を運び、皆で校歌を唱い、応援しようではないか。

ともあれ大学対抗戦での母校の活躍は、学生一同の心のささえにもなる。従って、今年はぜひ、そんな校友が丸となる応援風景を実現したいものだ。

- 試合日程は以下の通り。
- *四月三日(金) 対創価大戦 第一試合/四日(土)第二試合(太田スタジアム)
 - *四月九日(木) 対学芸大戦 第一試合/十日(金)第二試合(駒沢球場)
 - *四月二十三日(木) 対流通経済大戦 第二試合/二十四日(金)第一試合(駒沢球場)
 - *四月三十日(木) 対高千穂商大戦 第二試合/五月一日(金)第一試合(太田スタジアム)
 - *五月十四日(木) 対杏林大戦 第二試合/十五日(金)第一試合(神宮第二)
- なお第一試合の開始時間は十時三十分から。また第二試合は十三時三十分から行われる。また雨天で試合が順延された場合は、その都度、学生自治会の掲示板にスケジュールが掲載されるので、応援の向きは注意されたい。

学生相談室 利用のすすめ

学園の心のオアシス



新入生は、入学式も終わり、授業が開始されてひと月も経つと、とくに入学期前後の緊張感から解放されて、何かしら虚脱感に襲われかねないのが一般的な傾向である。

これは、俗に「五月病」といわれる現象だが、そんな時には、思い切った新緑の野山や林間での思いのひとときをもつとか、あるいは趣味に傾注するなど、思い切った生活パターンを変えてみるのが、いちばんいい方法だ。

とは言え、自宅からの通学者と違って、親元を離れた時には、思い切った学生相談室を訪れ、いわゆる「学園生活の母親役」を担っていただける日比野路子先生(写真)に、悩みを打ち明けてみることをすすめる。

日比野先生は、聖路加看護学校を卒業後、東京都庁や文部省勤務を経て、白梅学園短期大学、滋賀県立短期大学、静岡県立女子短期大学看護科などの教授を歴任された、心身の健康を保つ

て勉学に取り組んでいる者にとつては、生活環境の一变から、そういうストレス解消法は頭では分かっているけれども、なかなか身体がついて行かない面が、多々あると思う。

そんな際は、独りで悩まずに、思い切った学生相談室を訪れ、いわゆる「学園生活の母親役」を担っていただける日比野路子先生(写真)に、悩みを打ち明けてみることをすすめる。

日比野先生は、聖路加看護学校を卒業後、東京都庁や文部省勤務を経て、白梅学園短期大学、滋賀県立短期大学、静岡県立女子短期大学看護科などの教授を歴任された、心身の健康を保つ

むろん右の座談会が証すように、悩みに襲われないうちに、部活に積極的に参加して、互いに心の通じ合う友達をつくるのが、最善の道であることは、言うまでもない。

STUDENT
face '98

左下の写真では厳しい表情を見せているが、堀江秀俊君は、にこやかで柔和な好青年である。彼は生協設立委員会の委員長として大活躍にもよく知られている。

しかし、こんな優秀なスキで国体に四回も出場するほどの選手だったとはまるで知らなかった。

スキーといえば、まず回転や滑降などのアルペン競技を連想してしまう。しかし、堀江君はクロスカントリーの選手である。



堀江 秀俊君
(電気電子工学科3年)

■夢は教職に就くこと!!

後援会の全面的な支援でサービスセンターが運営されている日工大では、生協の設立は考えられない。この結論が大学側から出された時、彼は委員長を務めていた。議論白出、侃々諤々の末、委員会は学生食堂の改善など、学生生活の向上に取り組みするためのものに生まれ変わった。

委員会の看板に掲げたい目標を達成することはできなかつたものの、前向きな一歩を踏み出すことができた、と彼は満足している。

「他の人の模範になるような人間になりたい」という彼の話は、どこまでも真面目だ。だが、その態度からは気負いや街いといったものは微塵も感じられない。

あまりにも「よい子」なので、「何か悪いことしてないの?」と軽く冗談を振ってみると、「ワックス代や合宿費用で親にはずいぶん金銭的な負担をかけています」との答え。

うーん、泣かせますねえ。

先に行なわれた長野オリンピックでは、原田や船木、あるいは萩原兄弟といったノルディック勢が日本中を湧かせた。その萩原兄弟は、今では監督として選手を率いる父親の多大な影響がある。技の二目に行なう雪上のマラソンのような競技、あれがクロスカントリーだ。

あらためて正確な表現を

スカントリーを始めるようになったのには、かつての県内有数の選手であり、今は監督として選手を率いる父親の多大な影響がある。技の二目に行なう雪上のマラソンのような競技、あれがクロスカントリーだ。

あらためて正確な表現を

少年にも、厳しい指導に「コンチクショー」と思うときがあったようだ。

厳しい練習の甲斐あって高校三年間は父と一緒に国体連続出場した。父子とも、一生の思い出となっている。

また、勝田工業高校時代には、もうひとつの出会い

夢を持つようになり、大学進学を志すようになった。文武両道に秀で、何事にも積極的なその態度は入試時に高く評価され、日工大には特別奨学生として入学している。

大学入学後は、生協設立委員会の一員として活躍

施設整備費、研究設備整備費等の補助金 8研究プロジェクトに交付内定

より一層の研究成果を期待!!

平成九年度私立学校施設整備費補助金、私立大学等研究設備整備費等補助金及び私立大学等研究設備補助金特別補助の交付が、以下の通り内定した。

〔私立学校施設整備費補助金〕

☆研究装置（大学院）

「インパルス電圧・電流高精度測定・校正装置」→超高压放電研究センター 佐伯教授（事業経費＝八二、一一〇、〇〇〇円／補助金内定額＝三三、五〇〇、〇〇〇円）

同センターでは、既に新IEC規格に合格する基準分圧器・分流器の開発に成功しているが、これに引続き我が国の国家基準となる更に高精度の標準分圧器・分流器の開発などインパルス電圧・電流試験技術の進歩向上に資することを、目的としている。

☆研究装置（一般）

「超微細表面評価観察システム」→材料試験研究センター 長／村川教授（事業経費＝一三八、四三〇、〇〇〇円／補助金内定額＝六三、二三〇、〇〇〇円）

本システムは、電子線を利用した超微細表面を複合的に評価観察できる唯一のシステムであり、新材料の開発研究における評価装置として不可欠である。

〔私立大学等研究設備整備費等補助金〕

☆研究設備（特別設備）

「流れ場および粒子挙動観測システム」→機械工学科横谷教授（事業経費＝三九、年度下期分

五九一、〇〇〇円／補助金内定額＝二一、一四〇、〇〇〇円）

本システムは、製鉄技術の開発研究での水モデル実験など、広く流れの研究に活用できるものである。従来は、流れ内の粒子の動きを肉眼で見、解析していたが、画像処理技術を使うことで迅速に把握する事ができる。

〔私立大学等研究設備補助金特別補助〕

☆情報処理関係設備

「イントラネット対応情報技術教育システム」→情報技術センター長／樺澤教授（事業経費＝一三、五一九八〇〇円／補助金内定額＝六、七五〇、〇〇〇円平成九年度下期分

従来から対話型システムを導入し、柔軟な情報処理教育を行なってきたが、本システム導入により更なる成果が期待できる。

☆教育研究用ソフトウェア

「インパルス電圧解析プログラムソフト」→超高压放電研究センター 佐伯教授（事業経費＝三、〇〇〇、〇〇〇円／補助金内定額＝一、五〇〇、〇〇〇円）

使用する設備名→インパルス電圧・電流高精度測定・校正装置

☆教育研究用ソフトウェア

「サブリミナル波実験用ソフトウェア」→電気電子工学科渡辺教授（事業経費＝二、五三四、一七五円／補助金内定額＝一、二六〇、〇〇〇円）

使用する設備名→サブリミナル波実験装置

近事片々

キンコンカンコーン、朝八時半始業の鐘がなる。一般の人には始まりの合図であるが、私にとってには終業の合図となる。ここは、埼玉県の管理する完成すれば東洋一に匹敵する規模の下水処理センターの運転管理室で、年中無休二十四時間体制の勤務である。県民の生活で不要となった生活排水約二十五万m³/日が今現在流入してくる。その中には大学のある宮代町の下水も含まれている。排出者である諸先輩方は下水の行く末、そのきれいになる仕組みをどれだけご存じであろうか？

早いもので、私が卒業した十四年の歳月が流れ、過ぎた日々が一段と懐かしさを感じられる頃となりました。今思えば大学四年生の就職活動の時、車の開発部門に就きたいと強く熱望し、営業職は絶対にやらないと決

OB便り



新入社員に対して 下水の浄化を講義

小山 昇
機械工学科 (17期生)
武蔵野環境整備 (株) 営業部長

呼ばれたこの仕事は自分にはとても楽しいものであった。お得意先が苦慮していることを、青二才の男がいつも簡単に解決する。実に爽快である。

現場においては、自分の考えを形にすることができ、少し前に流行った「地

員の研修講師として奮闘している時である。本学の後輩たちも私の下で学び、下水処理のプロとして活躍している。

この研修時に、下水をきれいにしているのが実は微生物であるとの説明をする。と皆一様に驚いている。訊

真水分が残る。真水分は川へ放流するが、この現象を学ぶ講義が私の学生時代にはなく、関係者以外知る由もない。

そのせいか、現在私に課せられている使命は、この職業を広く多くの方に理解してもらいたい。更には原

と、薬品類を使用して処理していると思っている者が大半で、その後は目を皿のようにして説明に聞き入っている。浄化方法のヒントは「流しうろ」にある。水と糞が下水で、お客を微生物に例えると、お客が糞を食べ、帰ってもらう事で

民の縁の下で力持たれるこの仕事を希望する若者たちを育て、支援することです。

近年、さまざまな環境問題が取りざたされており、社会的に広く注目を集めている。本学においても、環境の講義を共通科目として学び、世に出る若者たちに環境問題を常に意識して次世代を生き延びたいと願っています。また、現代の最先端の生産技術を学ぶ傍ら、併せて環境を学んだ場合、人間社会の更なる飛躍が期待できるのではないかと思います。

最後に、本学の卒業生たちは、産業界のあらゆる分野に進出して極めて好評です。実践の場で即戦力となりうる人材を育成している大学として注目を集めています。今後も日夜、研鑽に励むことを忘れずに、本学で学ぶ学生諸君は、自信と誇りを持って頂きたいと思っています。

就職活動の好著!! 県内の優良中堅企業ガイド



もはや就職戦線の渦中にある中で、四年生には一つのガイドラインとも言うべき「埼玉の中堅120社」が出版された。

（日本経済新聞社／千七百円）

中身は、工学部の関連から見て、①住宅・土木・建設②鉄鋼・金属③機械④精密・光学機器⑤自動車部品⑥エレクトロニクス・同関連機器⑦情報・ソフト・環境などにわたって、業務の特徴ならびに企業デ



学園新景

これは前号で紹介した工業教育研究所跡に建築中だったゲストハウスの建築学科実験研究棟4階テラスより見た景観である。当所には、海外提携校からの教授ならびに研究員（フェロー）などが居住する16部屋が設けられたが、アットホームな装いで大変住み心地がよさそうである。

機械工学科の兼子講師および 院生の 君が博士号を取得!!



兼子正生講師

私の知り合いのT君の実家は、町内で下宿屋を行っている。もう十一年になるという。初々しい地方からの学生たちも、宮代町での生活になれるにつれ、T君一家とも家族同然の付き合いになっていくようだ。夜中に騒いでいるものなら「うるさいぞー、静かにしろー」とT君のお母さんの声が下宿中から響くという。

現在二十六歳のT君にとって、学生たちは、長い年月の中で「兄貴」であり「友達」であり「弟」

産物を土産にふらりと訪れ、まるで今現在、下宿をしながら帰って行くという。

馬の卒業生の案内で五月に山菜採りにいくのを今から楽しみにしているという。

「結婚式の招待状」である。こうしたことが一番うれしい、とT君のお母さんは感じているようだ。

T君のお母さんは群馬の卒業生の案内で五月に山菜採りにいくのを今から楽しみにしているという。

TOWN & CAMPUS 元下宿生の便り 栗原 聡さん (宮代町役場)

であった、という。東京で一人暮らしをしながらコンピュータ会社で勤めるある卒業生は、月に一度は長野の実家の所なのだろう。

「昨年、千葉の卒業生から思わぬ手紙が来た。「結婚式の招待状」である。こうしたことが一番うれしい、とT君のお母さんは感じているようだ。

T君のお母さんは群馬の卒業生の案内で五月に山菜採りにいくのを今から楽しみにしているという。

編集後記

▼新入生諸君、入学おめでとうございませう。これから始まる新しい生活に、胸躍らせていることでしょうか。

大学時代が実りあるものになるか否かは君たち自身の手に掛かっていると言えます。気合いを入れて頑張ってください。

▼今号では理事長、学長をはじめ、各学科主任にも新入生へのメッセージをいただきました。心して読んで、日大に入學したという自覚と誇りを持ってもらいたいと思います。

▼広瀬教務部長には、カリキュラムの履修についてアドバイスをいただきました。大学では、自分の時間割は自分で決めなければなりません。しっかりと読んで、後悔のないよう履修申告を行ってください。

▼また、在学生も新しい年度を迎えるにあたって、これまでの生活を振り返り、心新たに前進してもらいたいと思います。

▼本年度も有意義な年になるよう、お互い頑張ってくださいませう。

国外研修

◆伊藤 庸一 教授（建築学科）／出張先＝韓国（三／一）／目的＝韓国・全羅北道農村景観整備講演

◆鈴木 一良 教授（共通系）／出張先＝カナダ（三／五）／目的＝L

(三月)